

北海道教育委員会教育長 様

北海道岩見沢東高等学校長 若 林 利 行

次のとおり平成30年度の学校評価について報告します。

1 全日制課程

(1) 本年度の重点目標

ア 「岩東タイム」や医進類型などを活用し、生徒が進路目標を明確にし、その実現を図ることができる教育課程の編成・実施に努める。
イ 学習指導、進路指導及び特別活動等を通じて、自己理解を深めさせるとともに、コミュニケーション能力やストレス対処能力を高める。
ウ より一層主体的、対話的に課題解決する力を育成するため、授業研究を通じて授業の工夫改善を図る。

(2) 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策（全日制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修及び公開授業を実施することにより、授業研究を充実させるとともに、学力向上に向けた指導方法等の工夫改善を図ることができた。</li> <li>○「岩東タイム」を活用して、学習の量と質の向上を図るとともに、次年度の実施に向けたより一層の工夫改善が必要である。</li> <li>○「目指す生徒像」及び「目指す学校像」を踏まえて、各教科の指導計画等を作成する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のセンター試験の結果を踏まえると概ね学習指導等について評価できる。</li> <li>・より一層授業研究に努め、成果をあげてもらいたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領を踏まえて、校内研修や公開授業の実施などより一層主体的・対話的で深い学びに向けた授業研究を推進する。</li> <li>・「岩東タイム」の実施について、月単位で検証・改善・充実を図る。</li> <li>・すべての教科・科目について、シラバスの公表や授業評価の実施を推進する。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道医療大学と連携し、生徒のメンタルチェックや講演等を実施し、コミュニケーション能力やストレス対処能力の向上を図ることができた。</li> <li>○朝の玄関指導や通学指導、校内ネットコントロール、いじめアンケートを充実させ、事故の未然防止に努めることができた。</li> <li>○「岩東タイム」や生徒のメンタルチェックの結果を活用して、効果的に教育相談を実施することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的に不安定な生徒もいるので、引き続き精神的に強い生徒を育ててほしい。</li> <li>・高校時代は発達段階として重要な時期であるので、社会指導も大切である。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道医療大学との協働研究を通じて、教育相談的サポート体制の工夫改善を進め、生徒理解の一層の深化を図る。</li> <li>・警察や岩見沢市教育委員会教育支援センター、スクールカウンセラー等と連携を図りながら、生徒指導の充実を図る。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間の目標や実施内容等を系統立てた「岩東プラン」を作成し、キャリア教育の視点に立った進路指導を計画的・効果的に実施することができた。</li> <li>○外部人材を活用し、生徒の進路希望に応じた講演、講話、座談会等を充実させることにより、生徒の学習意欲や進路意識を向上させることができた。</li> <li>○「岩東タイム」を活用するなどして、生徒の進路希望の実現に向けて個に応じた支援をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポテンシャルが計り知れない生徒に対し、高い進路目標を掲げることとタイムリーな情報提供に努めてほしい。</li> <li>・生徒への適切なアドバイスをお願いしたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルを生かすとともに、生徒の実態に応じた「岩東プラン」のより一層の充実を図る。</li> <li>・講演、講話、座談会等の実施について、実施日や時間、内容等を精選する。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒用机及び椅子の入れ替えや生徒トイレの改修工事等を実施し、生徒の学習環境の整備に努めた。</li> <li>○学校のホームページをほぼ毎日更新し、学校の取組について情報発信することができた。</li> <li>○校内規程について、現状を踏まえた内容に整備する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード面における学校環境が整備され、概ね評価できる。</li> <li>・施設が古く、たいへんかと思うがベストを尽くしていると思う。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページの運用について、効果的に情報発信できるよう改善する。</li> <li>・校内規程を整備するとともに、校内規程に基づいた校務運営に努める。</li> </ul>	
服務規律 資質能力 の向上等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の打合せや職員会議等を活用し、機会あるごとに全体研修を実施するとともに、面談等を通じて個別研修を実施した。</li> <li>○面談等において学校課題を共有し、学校経営参画意識の高揚に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者及び教員の信頼関係をより一層強固なものにしていただきたい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者等に対して、より一層丁寧に対応するとともに、報告・連絡・相談を徹底し、情報の共有に努める。</li> <li>・計画的な業務遂行を徹底するとともに、分掌等の業務を精選する。</li> </ul>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会、保護者説明会等で公表する。</li> <li>・本校のホームページに公開する。</li> </ul>	